



第4課 新しい町で

できることの具体例

- ㊦ 日本の住所を漢字で書くことができる。
- ㊦ 学生カード申請書などの書類の必要事項の欄がわかり、記入ができる。
- ㊦ アルバイトの求人情報を見て、応募方法がわかる。
- ㊦ 進学案内の本の地域別目次から目的のページがわかる。

とびら

◎とびらに出ている学習漢字

【提出漢字】 名、前、男、女、東、京、区、市

【読める】 電話、住所

【見て、わかる】 性別

◎教室でのやり取り例

①とびら全体について

- T：これは何ですか。
L：名前？ 電話番号？
T：そうですね。これはどこで見ますか。
L：区役所、学校……。

②「名前」

- T：これは誰のですか。誰が書きましたか。
L：やまださん。
T：はい、『やまだまきさん』ですね。どうして「やまだまき」、これをここに書きましたか。
L：〈「名前」を指して〉名前です。

③「性別」

- T：この人は男の人ですか。女の人ですか。
L：おんなの人。
T：どうしてそれがわかりましたか。
L：(指差す)
T：じゃあ、〈「男」を指して〉これは何ですか。
L：おとこです。
T：〈「性別」を指して〉これは、「男ですか？ 女ですか？」という意味です。

④ 「住」「所」

T: 〈「住所」を指して〉これはどんな意味ですか。

L: すんでいます。ところ。

T: そうですね。「どこに住んでいますか」ですね。これは「じゅうしょ」です。

⑤ 「東京」「区」

T: 山田さんの家はどこですか。

L: とうきょうです*。

T: 「東京」の漢字はどれですか。

〈「東京都中野区」に数字を振って〉1、2、3、4、5、6どれですか。

L: 1と2です。

T: そうですね。東京は町がたくさんありますね。山田さんはどこに住んでいますか。

L: なかのです。

T: 中野は「区」ですか。「市」ですか。(P32を見ながら確認します)

L: 「く」です。

T: そうですね。〈「区」を指して〉これが「区」です。

*振り仮名から答えられると思います。

⑥ 「市」

T: 「住所」の漢字はもう1つありますね。どこにありますか。

L: (指差す)

T: そうですね。これは山田さんの家の住所ですか。

L: 会社です。

T: そうですね。どこにありますか。

L: さいたまけんかわぐちし……。 (振り仮名を読む)

T: 町の名前は何ですか。

L: かわぐち。

T: 川口は「区」ですか。「市」ですか。

L: 「し」です。

T: はい。〈「市」の漢字を指して〉これが「市」の漢字です。

皆さんの家はどこですか。

*身分証などを書いてある自分の住所に必要な漢字に着目してもらいます。

*ここで日本の住所の行政区分(都道府県)について簡単に説明するといいでしょう。課の最終ページ(p.32)にコラムがあります。

⑦ 「電」「話」

T: 「03-1234-5678」、これは何ですか。

L: 電話番号です。

T: そうですね。〈「電話」を指して〉じゃあ、この漢字は?

L: 電話。

◎覚え方のヒントと留意点

36「東」

イラストから漢字を覚えるアイデアを紹介してもいいでしょう。「木」の向こうから「日」が出ているという絵を描き、それぞれ何を意味しているか学習者に質問します。それから太陽が東から出てくると説明するといいいでしょう。



38「名」

漢字のパーツをカタカナに分解して覚えるのも1つの方法です。カタカナの「タ」「ロ」から「名前はたろう(タロー)」などというストーリーを作って覚えるアイデアを紹介してもいいでしょう。「タ」と「ロ」は離れないように注意します。

39「前」

上の部分が草冠ではない（下に突き出ない）ことに注意します。

40「国」

ストーリーやイラストを考えてもらって覚えるのもいいでしょう。

例) 国の王様は「玉 (=宝石)」を持っている。

「王」という漢字を知っている学習者がいれば、ストーリーやイメージを考えて覚えるのもいいでしょう。

41「男」

「田」 + 「力」のパーツに着目してもらいます。ストーリーで覚えるのもいいでしょう。

例) 田んぼで働く男の人は力があります。

* 「田」「力」は後に「漢字のパーツ」(p.55) で提出されます。

42「女」

書き方をひらがな、カタカナ、漢字の組み合わせ（「く」 + 「ノ」 + 「一」）で覚えてもらうのもいいでしょう。「一」が「ノ」から離れないように注意します。

44「市」

フォントによっては、縦棒が一画に見えるため、書き方に注意します。

ポイント

- ①…読み方の問題
- ②③④⑤…字形の問題

練習1 書いてみよう

II 既習漢字で熟語を作り、さらに文を作ってもらおう問題です。最初1人で考えて、そのあとペアやグループで一緒に考えてもらうと楽しい活動になると思います。既習の言葉でなくても学習者から出てきたら、取り上げるというでしょう。

例) 男前(おとこまえ)、京女(きょうおんな) など

IV 実際の自分の住所を書く練習です。学習者に必要な漢字はそれぞれ異なりますが、学習者が住んでいる地域に共通の地名(都道府県名など)があれば、全体で共有するといいいでしょう。

その他の地名は個別に対応してください。身分証などを見ながらでも構わないので、自分の住所を漢字で書けるようになるというと思います。

練習2 やってみよう

I 漢字の情報からどこに何を書くのかがわかるかを確認します。

「氏名」: 漢字圏の学習者にはフリガナも書いてもらってください。フリガナの意味を知らない学習者も多いので、そこに何を書いたらいいか確認します。また、「ふりがな」「フリガナ」の違いも取り上げるというでしょう。

「住所」: 日本の住所は、自分のメモなどを見ながら書いてもかまいません。フリガナは住所を言うときなど、とても役に立ちますので、一緒に見てあげてください。もし、わからないときは宿題にして翌日確認するといいいでしょう。

「生年月日」: 全部習った漢字ですが、この組み合わせでこの意味だということは初めて出てきます。漢字、文脈から推測して、「誕生日」ということがわかればいと思います。

II 「日」「土曜日」「円」「学生」「男」「女」「電話」「東」から情報を読み取ります。

①「電話」が探せるかどうかを確認します。まず、学習者にチラシをよく見てもらい、どこにその情報があるか確認します。

②まりさんは女性なので、「女」の漢字がわかるかどうかを確認します。

III (聴解問題)

会話を聞いて、どのページを見ているか考えます。アリさんは「九州」の「九」から、メイさんは「東京」「関東」の「東」から、リンさんは「四国」の「四」「国」から推測します。「東北」と「関東」は「東」が重なっていますが、「東北」は例となっているため、除外されます。知っている漢字が少ない学習者のほうが簡単なタスクかもしれません。最後に日本地図を使って、知っている地名が何地方なのか、確認するといいいでしょう。

IV ここでは、住所と名前が縦書きになっています。国によって宛名の書き方は異なるので、日本の封筒の宛名と差出人を書く場所を考えてもらいます。縦書きなので、漢数字(→第2課)が使われていることを共有してください。しかし、実際はアラビア数字、漢数字、どちらも使われること、横書きも多いことを確認します。実物を見せてもいいいでしょう。